

表IV-4 学習指導案

○本時のねらい

- ・自分には、何が必要か、何が適するの、手入れ、収納はどうするのか等、主体的に認識できる。
- ・問題解決の方法として、データベースを活用できる。
- ・被服の購入から着用、管理、廃棄までを考えた被服計画を作成できる。
- ・これからの被服管理のあり方を考えることができる。

	学習活動・内容	時	学習の流れ	指導上の留意点 ○評価	コンピュータ利用のねらい
問題把握	1. 本時の学習課題をつかむ。 自分の被服計画をたててみよう。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時の学習を想起させ、個人用データベースの目的と被服計画との関連を説明する。</li> <li>・被服計画のねらいを明確にし、生徒に学習の必要感を抱かせ、意欲を喚起する。</li> </ul>	
問題追求	2. 被服計画の必要性を自覚する。 ・衣生活自己診断や実態調査を再確認する。 3. 自分の衣生活の問題を探る ・データベースの検索の目的と活用法を知る。 被服の種類と数、手入れ、保管の実態、被服の着方、活用実態 ・具体的な目的を決め、ソフトを起動し、検索する	40		<ul style="list-style-type: none"> <li>・被服所持数調査や衣生活自己診断をもとに、問題を絞らせる。</li> <li>・データベースの効果的活用法を、具体例を示して理解させる。</li> <li>・2人で一台使用なので、交互に出来るよう指導する。その際、個人情報の扱いに配慮させる。</li> <li>○検索の方法は適切であったか。</li> <li>○検索により、問題の焦点化が図れたか。</li> <li>・レディネステストの結果などから4タイプに分けて、コンピュータを活用し個別指導をする。被服計画補助ソフトのメニューより自由に選択させる。</li> </ul>	<情報活用能力、学習意欲を高める>
問題解決	4. 検索内容をプリントし、分析・検討を試みる。 問題点の明確化 原因の検討 解決策の検討 5. 被服計画をたてる。 【被服管理データベース】 ・データベースの修正、入力をする。 購入計画 手入れ計画 着用計画 収納、保管計画 廃棄計画	40		<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;Aタイプ&gt; 自分の意図するデータの修正、入力を行わせる。データベースの検索により、計画表を自らチェックさせる。</li> <li>&lt;Bタイプ&gt; 問題の関連資料を提示し、ヒントを与えてから、データの修正、入力を行わせる。目的通り行われているか、確認させるようにする。</li> <li>&lt;Cタイプ&gt; 作成項目の具体的なチェックポイントを知らせ、目的にそったデータの修正、入力ができるようにする。</li> <li>&lt;Dタイプ&gt; 作成の手順を知らせ、各項のチェックポイントを確認させながら、興味を持ってデータの修正、入力ができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Aタイプについては達成感・成就感、情報活用能力を高める。</li> <li>・Bタイプについては学習意欲、情報活用能力を高める。</li> <li>・Cタイプについては情報活用能力、達成感・成就感を高める。</li> <li>・Dタイプについては学習意欲、達成感・成就感を高める。</li> </ul>
まとめ	6. プリントし、作成の成果を検討する。 ・自己評価 ・話し合い 7. これからの被服管理のあり方を考える。	10		<ul style="list-style-type: none"> <li>○被服管理データベースが完成したか。自己評価させる。</li> <li>・合理的な被服管理のありかたを認識させ、衣生活全体的見直しに結びつける。</li> </ul>	
発展	8. HPに発展できることをまとめる。 リフォーム、整理、家族の被服計画など	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・HPへの発展として、家族の被服計画、及び計画の実践への意欲をひきたす。</li> </ul>	